

たんぽぽだより

春日こども園

令和6年度 活動報告 NO.7



＜絵画展＞ 「ぐりとぐら」の絵本をテーマに4学年で共同製作をしました。たんぽぽ組はダンボールを破ったり、ローラーで絵具をぬったりしてカステラ・丸太・切り株を作りました。友達と一緒に製作する中で「まだ白いところがあるからきれいにぬったほうがいいね」「手伝うよ」など、自分の思いを友達に伝えながらみんなで作っていく姿が見られました。イメージを共有してみんなで作り上げる喜びを少し感じたようです。

＜給食＞ 1月から箸を使って食事をしています。「早くお箸を使いたいな」「家でも練習しているよ」と、お箸を使うことをとても心待ちにしていました。しかし、実際に使ってみると上手く握めなくて苦戦している子もいました。保育者に正しい持ち方を教えてもらい、何度も挑戦していました。食べ物を握めた時には「先生見て、できたよ!」と笑顔で知らせてくれました。これからも正しい姿勢や箸の持ち方や、お皿を持って食べることが身につくようにしていきます。

＜正月遊び＞ 凧揚げやこま回し、絵かるたなどの正月遊びを楽しんでいます。凧はビニール袋に絵を描いたり、はさみで切った紙を貼ったりして作りました。友達と一緒に風を感じながら腕を高く上げたり、おもいっきり走ったりして凧揚げを楽しんでいました。絵かるた遊びは、最初は保育者が読み手になっていたのですが、自分の思いを伝え、読み手になったり、自分たちで簡単なルールを作ったりして遊ぶようになりました。頭や体を使っていろいろな伝承遊びを楽しみました。



＜自由製作＞ 空き容器を使って製作遊びを始めました。保育者が見本を置いておくと、「同じものが作りたい」と言う子がいきました。作っている友達の姿をみて興味をもち、やりはじめる子が増えました。保育者の真似だけでなく、作っているうちにアイデアが浮かび、自分で試すようにもなりました。完成した作品をみた友達から「かっこいいね」「作り方教えて」と言われ、友達同士のかかわりや遊びも広がっています。これからも試したり考えたりして作る体験を増やしていきます。

＜大鍋＞ 白菜ちぎりをしました。白菜を見た子どもたちは、「大きいね!」と自分の顔より大きい白菜に驚いていました。ちぎっている時には「緑の葉っぱはちぎりやすいけど、白い部分は硬くて少しやりにくいね」と発見があり、「すずらんさんも食べるから小さい方がいいよね」と、自分たちよりも小さい子が食べることを考えちぎっていました。豚汁が出来上がると自分たちが手伝って作ったものをみんなで食べる楽しさを感じながら、「権茸苦手だけど食べるよ」と苦手な野菜も自分から頑張って食べる姿が見られました。

＜誕生会＞ 友達の前で、クラス・名前・好きなスイーツを発表しました。その後は、こま回し大会を行いました。この日を楽しみに子どもたちは友達と一緒に沢山回す練習をしてきました。ルールを守りながら掛け声に合わせて一斉にこまを回します。誰のこまが最後まで回っているかみんなドキドキ。悔しい思いを感じたり、勝てたことを喜んだりして意欲的に挑戦しようとする気持ちが高まっていました。

2025/01/31